

# 平成23年度事業計画

平成23年4月 1日より  
平成24年3月31日まで

昨年10月に公益法人の登記を完了し、民法特例法人から公益法人に移行いたしました。また、本年は協会創立120周年の節目の年でもあり、120年間の歴史と伝統を大切にすると同時に、協会を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に取り組むことで、時代の流れに取り残されないことが重要です。新制度では、不特定多数の利益に貢献することを目的とする公益目的事業と、会員の利益に供する共益事業或いは収益事業を区別して管理することが義務付けられましたので、事業目的とその実施状況の整合性を確認することも必要となってきました。

本年度の事業活動は、別表1の通り所管する支部・部会及び委員会等の責任において、昨年と同様の事業を実施いたします。

研究発表会の事業では、9月に北海道で開催される秋季シンポジウムで、キュリー夫人ノーベル化学賞受賞100年に合わせた世界化学年を記念して特別セッションが企画されています。また、年会は3月に京都で開催予定ですが、これらの研究発表会に、会員はもとより非会員の方々も参加しやすくなるような工夫を検討していきます。

出版事業の内、学術論文誌については、その活性化のため全文英文に切り替えて3年が経過し、更なる発展の施策としてアジア版への拡大の可能性を検討します。協会誌「セラミックス」では120周年に合わせて恒例の10年毎特集を企画いたします。また、昨年来、準備を進めてきたセラミックス・アーカイブの英語版については本年出版の予定です。

教育・啓発の事業では、従来からの事業に加え、セラミックスの知識普及のための方法を調査・検討します。

標準化事業については、国内規格に関する活動、認証標準物質の作製のほか、ISO規格の策定に関する活動にも参加いたします。

国際交流事業については、昨年大阪で開催された国際セラミックス会議（ICC3）のフォローアップの他、国際セラミックス連盟（ICF）、国際ガラス会議（ICG）を通しての活動となります。

その他事業では、隔年で実施しております「国際セラミックス総合展2011」が10月に東京ビッグサイトで開催されます。グリーン・イノベーション、ライフ・イノベーションをキー・ワードに現在準備が進められていますが、展示物を通じたセラミックスに関する知識普及の機会と捉えて取り組んでいます。

また、120周年記念に関連した事業としては、先に述べました協会誌特集の他に、記念表彰を実施いたします。

管理に関する事項では、協会ビルの耐震補強・断熱工事が終了、事務機器の更新も終了、事務局職員の減員も一段落しておりますので特段の予算措置は講じておりません。

ただ、会員の減少すなわち会費収入の減少に歯止めがかからない状況ですが、協会の活動がシュリンクすることのないように資源の配分に配慮し、各事業の収益構造の改善をはかり財政の健全化に取り組めます。

## 主な事業計画

行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第24回秋季シンポジウム (2011年9月7日～9日 北海道大学 (札幌キャンパス))</li> <li>・国際セラミックス総合展 (2011年10月12日～14日 東京ビックサイト)</li> <li>・2012年年会 (2012年3月19日～21日 京都大学 (吉田キャンパス))</li> </ul>
出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Journal of the Ceramic Society of Japan 毎月発行12冊/年。印刷部数毎号 5,200部、総頁 1,400頁。</li> <li>・セラミックス誌 毎月発行合計12冊。 印刷部数毎号 5,500部、総頁 1,000頁。小特集～大特集、この人にきく、セラミックスレビュー、「ほっと」spring、セラミストのための知恵袋、トピックス</li> <li>・Advanced Ceramic Technologies &amp; Products 2011年12月Springer発行</li> </ul>
教育・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラミックス大学2011 計7回講義</li> <li>・高校課題研究フォーラム (2011年8月)</li> <li>・高等学校生徒セラミックス作品展 (2012年3年年会)</li> </ul>
表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第66回 (平成23年度) 日本セラミックス協会賞</li> <li>・2011J CerSJ 優秀論文賞</li> <li>・第8回 (平成23年度) 協会活動有功賞</li> <li>・国際交流奨励賞 (21世紀記念個人冠賞 (倉田賞、井関賞), 日中セラミックス科学・技術交流奨励賞) (上記表彰式は2012年6月開催予定)</li> <li>・第45回 (平成23年度) セラミックス賞 (表彰式) (表彰式2011年10月28日)</li> </ul>
標準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO (分析) 提案 ・JIS 見直し</li> <li>・窒化けい素認証標準物質作成 (2012年4月頒布開始予定)</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラミックス博物館のコンテンツ拡充および更新</li> </ul>

### 1. 会議開催計画

1) 理事会 6回 (5月、6月、7月、11月、平成24年1月、3月)

2) 委員会(開催数)

経営諮問会議	1	広報委員会	2
運営委員会	5	やきものWG	3
科学・技術委員会	2	標準化委員会	2
国際交流委員会	2	規格更新小委員会	2
行事企画委員会	5	認証標準物質作製小委員会	2
年会・行事サービス小委員会	5	標準物質認証検討小委員会	1
秋季シンポジウム小委員会	5	教育委員会	3
論文誌編集委員会	12	役員候補者推薦委員会	1
タイトルサービス小委員会	1	協会賞選考委員会	2
優秀論文賞選考委員会	1	功労賞選考委員会	1
協会誌編集委員会	9	セラミックス賞選考委員会	1
出版委員会	6	国際交流奨励賞選考委員会	1
戦略WG、啓発WG 電子化WG	各6	協会活動有功賞選考委員会	1
アーカイブズWG	10		